


“幸せな出産と安らかな老後に向けた”

全羅南道の少子高齢化社会対策



Contents

- 
- I 政策方向
 - II 基本現況
 - III 全羅南道の少子高齢化社会対策
 - IV 日韓海峡沿岸県市道における共同交流への提言

自由テーマ：2013順天湾国際庭園博覧会



推進方向

- 出産や子育てしやすい社会的雰囲気の拡散
- 出産や子育てにかかる経済的負担の軽減や養育環境づくり
- お年寄りの社会参加の拡大や社会セーフティーネットの構築

目標

- 出産率の漸進的な回復及び高齢社会への対応システムの確立
- 出産・子育て及び高齢化社会への効果的な対応

ビジョン

- 少子高齢化社会への先制的対応で「福祉全南」の実現



自然環境

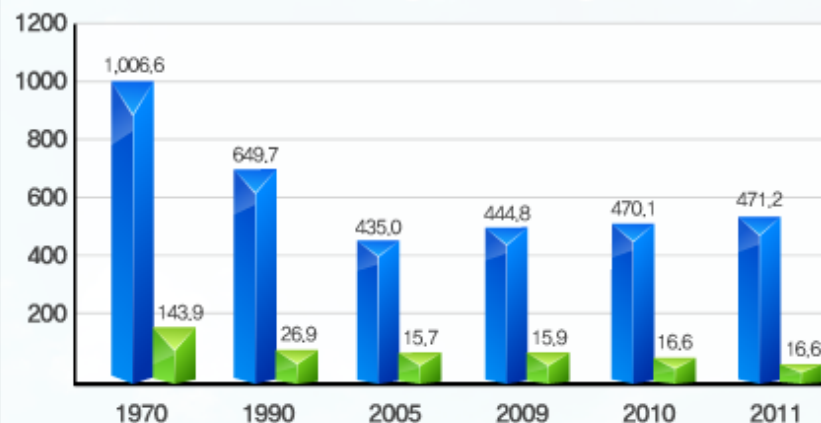
- 清らかな水、きれいな空気
- 汚染されていない土地、穏やかな気候
- 「南道」の歴史・文化・芸術資源が調和した医療休養の最適地

卓越した快適性や清らかさにより
アジア初のスローシティーに認定(4箇所)

全羅南道は
人が住みやすい **清らかな地域**

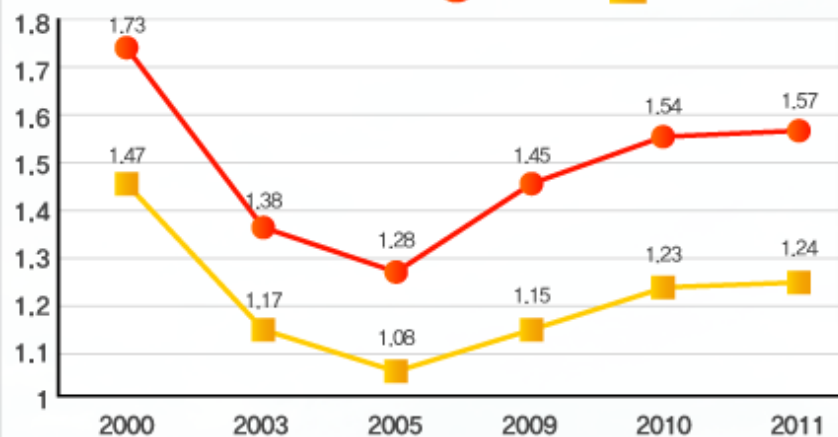
出生児数

全羅南道 全国 (単位:千人)



合計出産率

全羅南道 全国 (単位:人)



国際結婚の増加に伴う
可妊女性の出産増加や
様々な出産奨励策により、

2007年から
全羅南道の合計出産率は1.57名

1位
全国 (1.24人)

老人人口

全国



全羅南道



一人暮らしの老人 114千人 (31.9%)
脆弱な老人層 29千人 (8.2%)

老人人口の比率

✓ 毎年約0.4%ずつ老人人口が増加、
2015年末には超高齢社会へ進入予想



少子高齢化に伴う問題点

- 社会的負担の増加：'05年) 7.9人が老人一人を扶養
→ '50年) 1.4名が老人一人を扶養
- 生産人口の減少などによる国家競争力の低下

老人福祉施設

単位 (箇所)

区分	住居福祉	医療福祉	老人福祉館	敬老堂	老人教室	在家長期療養機関
全羅南道	30	261	29	8,460	90	1,004
全国	414	4,079	281	61,537	1,557	19,230

出産と子育てしやすい環境づくり

出産にやさしい 環境づくり

- 「多子女幸せカード」
制度の運営 (5千世帯)
- 「出産にやさしい世の中」
全羅南道運動本部の運営
(11つの事業)
- 広報の強化により
社会的共感を拡大
- 少子化克服に向けた
道民教育 (16回)



仕事と家庭のバランスの 取れた企業文化の定着

- 女性が幸せになる職場づくり
- 男性の家事と育児参加の拡大
- ファミリーフレンドリーな
企業文化の拡散
- 仕事と家庭が両立できる
職場キャンペーンの展開



出産・子育てしやすい 環境づくり

- 新生児の養育費支援及び
訪れる産婦人科の運営
(全国最初、17千名)
- 妊産婦専用の駐車場設置
(全国最初)
- 職場内保育園設置の拡大
- 養育費支援の拡大
(104千名、3,747億ウォン)



お年寄りが幸せになる老人福祉の推進

所得保障を支援する

- 敬老堂での特産品販売など
高齢者の雇用創出
(17千名、257億ウォン)
- 老齢年金の支援
(310千名、3千億ウォン)
- 高齢者向け無料給食 (6千名)
- 住居環境の改善 (110世帯)



健康増進を図る

- 農・漁村に共同浴場の建設
(全国最初、122箇所、305億ウォン)
- 健康増進プログラムの提供
(78箇所)
- IT技術を取り入れた
お年寄り向け運動機器の普及
(98台)
- 健康散策路の造成及び
歩行補助車の支援
(170箇所、3千名)



余暇文化を拡大する

- 老人保護専門機関及び
老人教室の運営 (89箇所)
- 敬老堂の運営
(8千箇所、98億ウォン)
- 老人福祉基金の運用
(60億ウォン)
- リタイアタウン・休養・
田園村の造成



1 老人健康及び生活時間に関する共同研究

- 推進時期 2013年中
- 参加機関 県市道別行政、学界、研究機関等
- 内 容 老人健康、生活時間(勤労、生活、家事、余暇)の研究



健康な老後を提供し、高齢者の生活の質を向上させる

2 少子高齢化克服のためのフォーラムに相互参加

- 推進時期 2013年中
- 場 所 フォーラム開催県市道
- 参加者 市道県別経済、女性、市民社会、自治体の代表等
- 内 容 少子高齢化克服のための分野別施策及び共同対策の模索



多様な政策交流と共同対応による少子高齢化の克服

開催概要

- 期 間 2013.4.20～10.20 (6ヶ月)
- 位 置 全羅南道順天市豊徳洞・五泉洞及び順天湾一帯
- 面 積 主博覧会場 558千㎡ (周辺事業1,527㎡)
- 主要事業 生態庭園、世界庭園、テーマ庭園など
- 事業費 1,064億ウォン (国費149、道費90、市費825)



期待効果

- 気候変化に対応したグローバル生態観光都市の造成
 - 国家ブランド向上及び地元経済の活性化
- * 経済効果 : 1兆3千億ウォン
* 雇用創出 : 1万名
* 訪問客数 : 468万名

International Garden Exposition
Suncheon Bay Korea 2013

2013.04.20 ~ 10.20



全羅南道は少子高齢化への対応を
リードしていきます。

ありがとうございます。

